印刷	下谷區御徒町一丁目十三番地同人版	輯
印刷	文部省版	
印刷	芝區三田三丁目十二番地同人版	述
耕	本郷區駒込西片町十番地同人版	
深輯	芝區櫻川町一番地小田深藏版	
善輯	兵庫縣神戸北長狹通五丁目一番地熊谷幸介版	

陸軍一般

去来五月一日ヨリ午

係此旨相達候事

軍卿大山巖

府縣東京府ヲ除ク

場合ニ於テハ本

ノ此旨相達候事

法卿大木喬任

達文中ニハ誤寫

ヲ掲ク）

判所會計課ヘ左ノ

有之筈ノ處不足ノ

モ問々有之右ハ畢

不拘候條以來右樣

候也

所　戸長役場

里ニ於テ罪ヲ犯シ

狀並刑名ヲ詳記シ

知事松田道之

所　戸長役場

乙第九號達中耕宅

ノ上差出スヘシ此

知事松田道之

左ノ通達セラレ

可下渡ニ付生

差出無之渡方

成度此段及伺候

不限御送付ニ相成

左ノ通達セラレ

タリ

去ル明治十三年一月中獸疫流行ノ際府下獸類飼養者便利ノ爲別紙獸醫人名新聞紙上ニ廣告致置候處右現今猖獗致シ居候間且其他ニモ從來伯樂ト唱ヘ候牛馬醫ノ類ニテ開業致居候有之候ハヽ一同取調至急御回答有之度會ニ依リ此段申入候也

○臨時報第五十三回　暴風雨ノ件

岐阜縣本月十五日通報

本縣下ハ去十日頃ヨリ暖氣俄ニ加ハリ寒　計七十二三度ノ間ヲ昇降シ十三日ニ至リ東南ノ風烈シク吹キ起リ雨モ亦甚タ強ク諸川河ノ水ハ平水ヨリ一丈二三尺モ增シ堤防破損セシモノ少カラズ其他水路溝、家屋、土藏、橋等ノ流失セシモアリテ殊ニ揖川ノ耕地ハ何レモ水ヲ被フリ大小麥、紫雲英、蓮其他ノ作物ハ非常ノ損害ナリ

明治十五年四月廿二日　農務局

○正誤　當廳本年乙第拾九號達中「今後」ノ下「治罪法ニ於テ立會ナル場合ノ外」ノ拾六字衍　本府甲第四十七號高知縣吉川ハ吾川ノ誤

叙任賞勳

○十三年六月七日分

内海右一郎　井上銀藏　小林倚玄　山口友信

警視局二等巡査奉職中鹿兒嶋遊徒征討ニ際シ盡力其功不少候ニ付勳八等ニ叙シ白色桐葉章下賜候事

前同文　徳嶋縣十等屬　高木操

時事新報

文部省第三號ノ達ヲ讀ム

四月十七日文部省第三號ノ達ハ町村立私立學校取締上ニ關スルモノニシテ其眼目トスル所ハ町村立私立學校ノ既ニ設置シタル者及ヒ將來設置スル者共總テ精密ニ監督調査ヲ遂ケ其教旨ノ第一國安ヲ妨害シ第二風俗ヲ紊亂シ第三身心ヲ損害スルガ如キ恐レアルモノハ勿論苟モ教育上ニ弊害ヲ生ス可シト認ムルモノハ嚴重ニ處分可致トテ府縣ニ達シタルモノナリ

我輩右三樣ノ綱領ヲ案スルニ第一學校ノ教旨ニテ國安ヲ妨害スルトハ其校主教員タル者ガ生徒ヲ集メ政治經世ニ關シテ不良ノ書ヲ教ヘ又ハ之ヲ口授シテ其旨ハ日本國内ノ安寧ヲ破壞スル者歟或ハ其書ノ性質ハ不良ナラサルモノヲ教授スルノ方法善良ナラサル者歟又或ハ近來世ニ政談流行ニ付テハ學校ノ名ニ托シテ壯年輩ヲ集メ教場ノ本色ハ第二着ノ事トシテ恰モ一政黨ノ委ヲ爲シ以テ官權ト云ヒ民權ト稱シ唯政治上ノ議論ニ喋々シテ世海ノ波ヲ揚ケントスル者モナキニ非サレバ是等ノ取締トシテ嚴重ニ處分スルノ義ナラン即チ政治上ノ事ナリ抑モ政治ノ事項ニ關シテ國安ヲ妨害スル者ヲ處スルニハ既ニ其法律ヲ設ケテ今日モ實施スルヿナレ𪜈今回教育ニ就テ特ニ達スルモノハ現行ノ法律ハ既往ノ國費妨害ヲ制シ文部省ノ達ハ未來ノ國費妨害ヲ防クモノニシテ斯ル教育ノ旨ニテハ迚々此學校ヨリ出身スル者ハ他日必ス國安ヲ妨害シテ現行ノ法律ニ觸ルヽヿアル可シト之ヲ恐レテ嚴重ニ處分或ス可シトノ義ナラン現行ノ國費妨害ニテモ其經左不分明ニシテ往々處分ニ困却スルモノアル由學校ノ教旨ヲ監督調査シテ豫メ其有害無害ヲ斷定セントスルハ又一層ノ困難ニシテ當局者モ固ヨリ其難キヲ知ルヿナラント雖ニ我輩ノ臆測スル所ニテハ文部省ハ必スシモ學校ノ教場ニ立入リテ其書籍ノ性質ヲ是非シ其教授ノ方法ヲ咎メントスルノ意ニ非ス唯彼ノ學校ノ名ニ托シテ壯年輩ヲ集メ其騷動或ハ程カナラサルモノモアラン歟ト之ヲ憂慮シテ豫防ノ方策ヲ設ケタルヿナラントト信ス若シモ然ルモノニシテヨク實際ニ行ハレタラハ至當ノ考案ナリト云フ可シ

第二風俗ヲ紊乱スルトハ全ク道德上ノ事ナラン抑モ人ノ私德公德ノ發表シテ其働ヲ社會ニ呈スルモノヲ之ヲ風俗ト云フ而シテ其公德ヲ紊乱スルハ即チ國安ヲ妨害スルモノニシテ別ニ其目アルカ故ニ爰ニ掲ル所ハ專ラ一個人ノ私德ニ關スルモノナラン例ヘハ町村立私立學校ノ教主又ハ教員等カ放蕩淫逸貪吝不正ニシテ品行ヲ脩メス甚シキハ其教授スル所ノ書籍ニ至ルマデモ醜ヲ厭ハスシテ以テ滿校ノ惡風俗ヲ成シ遂ニ生徒ノ品行ヲ傷フモノヲ云フナラン然ルニ他ノ德義ノ厚薄ヲ評スルハ高德ノ人ニ非サレハ能ハス況ヤ之ヲ監督調査シテ其德ノ薄キ者ヲハ嚴重ニ處分セントスルニ於テオヤ嚴方正有德ノ君子ニシテ内行脩リ曾テ世間ノ譏ヲ受ケタルヿナキ人物ニシテ始メテ其任ニ當ル可キモノナリ有形ノ法律ナレハ其明文ニ依賴シテ他ヲ處分スルヿ難カラスト雖モ苟モ德義ノ域ニ入ラハ全ク無形ノ議論ニシテ假令ヒ何樣ノ處分スルモ其處分ヲ以テ勸懲ノ効ヲ奏スルト否トハ處分者ノ德義ノ厚薄如何ニ在テ存スルノミ今回コノ達ノ發シタル所ハ文部省ナレハ先ツ本省ノ官吏ノ私德如何ヲ觀察スルヿ緊要ナリ次テ此達ノ旨ヲ奉シテ之ヲ實施スル者ハ府縣ナレハ府縣廳ノ官吏ノ私德如何ヲ觀察シ省廳ノ官吏其私ニ於テ果シテ嚴方正有德ノ君子ニシテ内行脩リ家政整ヒ曾テ世間ノ譏ヲ受ケタルヿナキ人物ナラハ此第二ノ目モ亦甚タ有力ニシテ風俗矯正ノ方便タランノミ

第三身心ヲ損害スルトハ衛生上ノ事ニシテ爰ニ云フ心トハ道德ノ心ニ非スシテ生理ノ心ナラン道德ノ心ナラハ前ノ風俗ノ目ニ於テ之ヲ盡シタレバナリ故ニ衛生ヨリ之ヲ論スレバ精神ヲ勞スルニ過キテ錯亂スル者アリ、逸スルニ過キテ放心スル者アリ即チ生理上ノ心ニシテ之ニ注意スルヿ固ヨリ緊要ナリ又其体育ニ至テハ德育智育ト相權衡スルモノニシテ精神ニ費ス所ハ体力ヲ以テ之ヲ償ヒ、体力ニ得ル所アレバ精神ニ之ヲ失フ、生理ノ上ニモ之ヲ歎ノ可ラズ殊ニ我日本人ヲ以テ西洋人ニ比スレハ之ヲ平均シテ体力强壯ナラサル者ノ如シ左レバ今日ノ教育法ニ

於テ体育ハ最モ焦眉ノ急ナレ𪜈全國ノ教風皆德育智育ニ偏シテ諸學校ノ課程甚タ寛ナラズ殊ニ文部省直轄ノ大中學校等ニ入ル者ハ其學課モ高ク其時間モ少ナカラズシテ諸師復讀自修ノ用意等ノ爲ニ殆ト終日ヲ費シ往々コレニ堪ヘズシテ身心ヲ損害スル者ナキニ非スト云フ固ヨリ其本人ノ天稟虚弱ナルガ故ニ然ルモノナラント雖𪜈我國ノ子弟ハ平均シテ虚弱ナル者多シ當局者ノ注意ヲ要スルモノナリ上ノ行フ所ハ下必ス其風ニ倣フ故ニ文部省ガ町村立私立學校ヲシテ衛生ノ旨ヲ率セシメント欲セバ隗ヨリ始ルノ故事ニ從ヒ先ヅ本省直轄ノ諸學校ニ於テ其課程ヲ寛ニシ日本國中文部ノ學校ニ限リテ病者少ナク其生徒ニ限リテ身体強壮ナリトノ先例ヲ示シタラバ天下ノ學校皆コレニ風靡セサル者ナカル可シ今日ニ至ルマデ衛生ノ一點ニ付テハ何分ニモ文部學校ノ風ヲ學フ可ラザリシハ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ

雜報

○吹上禁苑行幸　去る廿一日　聖上皇后宮には吹上禁苑へ觀花の御遊とゝて行幸遊ばされさり同日皇族大臣參議の方々及内外貴紳の方々よも夫人を同伴せられ午前十時同禁苑内滝見の御茶屋及紅葉の御茶屋よ參集ゝ兩陛下を爰に奉迎ゝ奉る同日は殊よ天氣晴朗にして八重櫻今を盛りと咲乱れ藤花躑躅の花も樹間よ爛熳たれば龍顔殊よ麗はしく御苑中を數度御遊歩遊ばさる正午十二時餐を取設けありし立食ゝ席へ此際海軍軍樂隊の教師ダクロン氏を始め樂隊數名ゝ共に奏樂ゝ奏せり午後の午後の間樂を奏せり右畢て午後再び御歩遊ばされ午後五時還幸遊ばされ續て一同退出せられたり而日參觀婦人は内國人よりとも總て西洋服着用にてありしといふ

○皇子明宮　同宮には昨廿三日正午方有樂町なる中山從一位の邸を御出門二位局をゝしめとして其他ゝ御附の方々を從へたまひて濱離宮へ成らせられたり

○井上參議　井上參議よは過日來病氣の爲め引籠居られしが明日頃東京出立豆州熱海へ赴き療養せらるゝよし

○運輸會社　此運輸開拓使の官船貸下を受けさる北海運輸會社の役員は社長堀基副社長蛯子與太郎支配人金子助三郎會計杉浦嘉七常野正義伊藤錦之助等の諸氏なりと

○交詢社員大會　一昨廿二日ゝ木挽町二丁目明治會堂よ於て交詢社員の大會を催しさる夕朝より天氣勝れと正午頃ゝシケ模樣となりたるゝ來會せる者少なかりしと雖ども左にあらざる時刻よ至り來集する者無慮三百名當日の會頭よゝ小幡篤次郎君副會頭よゝ肥田濱五郎君其撰よ當り午後一時過より同社常議員半數更撰の投票を開きさるに福澤諭吉、大隈重信、後藤象次郎、矢野文雄、中上川彦次郎、由利公正、肥田濱五郎、犬養毅、馬場辰猪、河瀬秀治、小泉信吉、小野梓、箕浦勝人、岡本貞烈の諸君高點よて當撰せられたり續て議事よ掛り午後五時半に至りて會議全く畢る小憩の後交詢社の性質よ付福澤先生の演說あり右畢て會員一全食堂よ至り立食の宴よ就く宴央にして會員思ひ〳〵の席上演說あゝ各歡を盡して退散したるは午後九時過なりき

○元山津の變報　本月十七日朝鮮國元山津出帆仝廿日長崎へ入港したる郵便船敦賀丸より三菱會社へ達したる電報に

大淵ヨシノリ（三菱會社元山津支店の手代）元山津ノ先キコテ韓人ニ毆タレ重傷ヲ受タレ𪜈死スルヿアルマシ本願寺ノ僧ハ即死大倉組社員ハ頗ル重傷居留地騒動甚シ日韓ノ交際ヲ破ルニハ至ルマシ

とあり何日の事なるや日限分らさるども敦賀丸ゲ十七日に元山津を發しさる事より考ゝゝ同日以前に在りたる事變と思いるゝあり尚委細い後報を俟て報道をへし

○山口廣江君　中津七十八國立銀行頭取山口廣江君ゝ過日來出京中の處去る十九日發途伊勢京坂地方を巡歴ゝて歸鄉せらるゝよし

○前田利同君　過般佛關西より歸朝せられたる書記生前田利同君よゝ去る二十日外務省御用掛准奏任に命せられたる由

○巡査召募　警視廳よては巡査を募るよ鹿兒島縣を專一と爲すゝと見へ既に昨十四年十一月以來三百名を召募せしゲ今回又百名を同縣より募ると云ふ

○度量衡　内務省地理局測量課の御雇獨逸人某ゲ去月測量の度量衡を改正せさるべからさる趣きを内務大臣の兩卿へ建議せし處御用掛荒井郁之助君よい大よ之を贊成され去る二十一日同省第一應接所にて測量課の官員が農商務大藏陸軍文部工部諸省の官吏と會議されーゲ外務海軍兩省より出會あきを以て十分よ決定せざりしと

○記者法庭よ招喚せらる　一昨廿二日東京日日新聞假編輯長山本欽三いろは新聞編假輯長安武直亮ゝ兩氏は輕罪裁判所檢事へ招喚せられ兩新聞紙上へ代言人方波見祐助ゲ告訴狀を捏造せし件よ付尋問を受られまよ朝野新聞假編輯長山崎源太郎氏い本月八日の紙上論說の件に付檢事の尋問を受られたり

○郡長公撰　千葉縣會議員及郡中諸貨を議そるに郡長を公撰とあす事を二十六番（平山晋）廿七番（平山晋）三郎（三十一番（久我勝）可決し平山晋、齋藤仁平右工門の五氏を選擧し政府よ建言もる事になる

○横濱新茶の相場　同氣よきりよして去るまてよ至りしゝ午後俄た一昨廿二日は四十弗此景氣にてゝ四十五六ゲヤ越せり

○大分縣人官吏會　島て來る廿六日綏地壽美は何故ゝ昨年とは事變ゝよし

○北海の運輸　三菱會館地方の船賃を凡二割

○御用掛　足立正修君一等屬豬方道平君い統

○區會議長撰擧　麻布に於てい阿部泰藏君議撰されさり

○悍馬　陸軍々馬局よ悍馬と稱ゝへきい寢醒よて飼餌れ事など取扱嚙付少し怒氣を發ゝるゝ

あら馬あるよし該馬いて分捕せし馬よして賊馬なり特に戰地をも屢たる駿足のよし

○砲臺建築　神奈川縣いい同郡猿嶋砲臺に相對は必要の地あるを以てよ陸軍參謀本部海防局さるゝやの風說

○一千五百万圓　彼の係る名譽毀損一千五百京輕罪裁判所よ於て公

○有恒社製紙場　日本恒社ゝ先年ゝり洋紙製掛けしゲ漸やく此節よ